



【夜ごと、劇場でのライブショー、そして船内のあちこちで繰り広げられるパーティ。写真は吹き抜けホールでのディスコ（エレベータ内にもダンサーが）】

久々のクルーズ旅行だった。

20 年前、ロスアンジェルス・ロングビーチ港発着の「ダイヤモンドプリンセス」10 日間メキシカン・リビエラクルーズに参加以来となる。

今回は博多港発着のイタリア客船「コスタセレーナ」による台湾・基隆港往復の 4 泊 5 日の船旅である。

カジュアル・クルーズと銘打つだけに費用と所要日数が手ごろであり気楽に参加出来るのがいい。

特に、今回のクルーズの出航日が週末だっただけに、若者や、子供を伴う家族連れも多く、ママ友グループ、同窓会風と多種多様。また、赤ちゃんをベビーカーに乗せたヤングママも臆することなく単独参加の姿にも驚いた。

日本でもクルーズ旅行の人气がここまで一般的になっていることを実感した。

ダイヤモンドプリンセスでは、乗客の殆どがアメリカ人、その陽気な性格に圧倒されつつも、日が続つにつれすっかりその雰囲気溶け込んで、夢のような時間を過ごすことができた。

日本人乗客ばかりではこうは行かない、と思い込んで乗り込んだ今回のクルーズではあったが、予想に反し、日々ワクワクの連続ではないか。

こうして乗客の期待を裏切ることなく、解放感と満足を与える運航会社（イタリア）の演出とスタッフのサービス精神の旺盛さに感動さえ覚えた旅であった。



【参考】

船名：コスタセレーナ イタリア・コスタクルーズ社・所有

総トン数 114,500 トン 全長 290m

乗客定員 3,780 名

・ダイヤモンドプリンセスとほぼ同規模なるも乗客定員数は約 1.3 倍